

医療支援編 (避難所編)

出動までの準備

① 情報収集

(発災後速やかに情報の入手あるいは予想すべき点のチェックを行う)

- 災害の種類 ● 発生時刻 ● 場所
- 被害状況 (物的・人的被害、特に傷病者数、傷病の性状)
- 現地の気象状況 (気温、天候等)
- 救護活動の進捗状況 (他機関の活動状況等)
- 道路状況

② 要員の選出 (医師、看護師、事務官)

③ 携行物品

携帯医療セット (後述)

個人装備

- 身分証明書等 ● 筆記用具 ● 現金 ● 携帯電話
- 軍手・軍足 ● 雨衣 ● 洗面用具 ● タオル
- マスク ● ゴーグル ● ペン型ライト ● 印鑑

その他衣食住にかかわるもの

- 食料 ● 水 ● 寝袋 ● 防寒対策、着替え等の用意

④ 班員業務分担の確認

被災地到着後速やかに対応ができるように、それぞれの業務を確認する

これは移動中の車両等においても可能である

医療支援編 (避難所編)

携帯医療セット内容 (1)

① 診療用具

- 聴診器 ● 打腱器 ● 体温計 ● 血圧計
- 直像鏡 (耳、鼻、眼底用)
- 咽頭鏡 ● 鼻鏡 ● ペンライト ● 舌圧子 ● 手袋
- マスク ● 心電計 ● 除細動器 (又は AED)

② 消耗品

- 膿盆 ● 滅菌綿棒 ● 三角巾 ● 消毒用綿球
- ガーゼ付き絆創膏 (バンドエイド)
- 吸収パッド付き救急絆創膏 (プリマポア)
- 包帯 ● 皮膚縫合用テープ (ステリーストリップ)
- 紙テープ ● 布テープ ● ディスポカミソリ ● シーネ

③ 衛生材料

- ガーゼ (滅菌ガーゼ含む) ● 滅菌綿棒
- 消毒キット ● タオル ● 三角巾 ● 止血棒
- 救急シート ● 滅菌手袋 ● シーネ ● 手洗い用石けん
- ピンセット ● 外科剪刀 ● 外科ゾンデ ● 止血鉗子
- 持針器 ● 縫合糸付き角針 ● 縫合糸 ● 角針
- 皮膚縫合用ホットキッス (スキンステプラー)
- 穴あきディスポシート ● シャーレ ● 洗浄びん

④ 点滴、輸液用品

- 注射器 ● 注射針 ● カテラン針 ● 輸液セット
- 静脈留置針 ● 翼状針 ● 延長連結管 ● 駆血帯
- 血糖測定器 ● 紙テープ ● 布テープ
- 点滴掛け用フック

医療支援編 (避難所編)

携帯医療セット内容 (2)

⑤ 医薬品

- 電解質輸液 ● 乳酸リンゲル液 ● 低張電解質輸液開始液 (ソルデム1号)
- 低張電解質輸液維持液 (ソルデム3号) ● 生理食塩液
- 強心、昇圧薬 ● エビネフリン (ボスミン)
- 抗不整脈薬 ● リドカイン (キシロカイン) ● 硫酸アトロピン (アトロピン)
- 中毒用薬 ● 7%炭酸水素ナトリウム (メイロン)
- 気管支拡張薬 ● アミノフィリン (ネオフィリン)
- 副腎皮質ステロイド ● コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム (ソルコーテフ)
- テキサメタゾン (デカドロン)
- 鎮痛薬 ● ベンタゾシン (ソセゴン) ● プチルスコボラミン (ブスコパン)
- 催眠、鎮静薬 ● ジアゼパム (セルシジョン)
- 局所麻酔薬 ● 塩酸プロカイン (オムニカイン)
- 抗菌薬 ● 塩酸セフトリアム (バンスポリン) ● フロモキシエフナトリウム (フルマリン)
- 硫酸ゲンタマイシン (ゲンタシン)
- 低血糖処置用 ● 20%ブドウ糖
- 解熱鎮痛薬 ● イブプロフェン (フルフェン) ● ロキソプロフェンナトリウム (ロキソニン)
- ジクロフェナクナトリウム (ボルタレン坐薬)
- アセトアミノフェン (カロナール坐薬)
- 鎮静薬 ● ジアゼパム (セルシジョン) ● エチゾラム (デパス)
- 睡眠薬 ● 塩酸リルマゾホン (リスミー)
- 風邪薬 ● 非ヒリン系配合剤 (PL顆粒) ● 臭化ドミフェン (オラドールトローチ)
- ポビドンヨード (イソジジンガール) (うがい用)
- 鎮咳去痰薬 ● デキストロメトルファン (メジコン) ● カルボシステイン (ムコダイン)
- 止痢薬 ● 塩酸ロペラミド (ロペミン)
- 整腸薬 ● ビフィズス菌 (ラックB)
- 緩下薬 ● センソリド (プルセコド) ● ビコスルファートナトリウム (ラクソベロン)
- 洗腸薬 ● 炭酸水素ナトリウム / リン酸二水素ナトリウム配合剤 (レシカルボン坐薬)
- 降圧薬 ● ニフェジピン (アダラート)
- 抗菌薬 ● 塩酸セファペンピボキシル (フロモックス) ● レボフロキサシン (クラビット)
- オフロキサシン (タリビット点眼)
- 軟膏 ● 硫酸ゲンタマイシン (ゲンタシン軟膏) ● ポビドンヨード (イソジジンガール)
- 吉草酸ベタメタゾン配合剤 (リンデロンVG軟膏) ● ジフェニドラミン (ベナスタ軟膏)
- 消炎鎮痛パップ ● インドメタシン (インドメタシンコーパップ) ● サリチル酸 (MS冷湿布)
- 洗浄用生食消毒薬 ● ポビドンヨード (ポビラール液)
- 手指消毒薬剤 ● 塩化ベンザルコニウム (ウェルバス)

医療支援編（避難所編）

到着から診療開始まで

① 到着連絡

出勤の指示を行った自病院への到着連絡

② 現地（市町村）災害対策本部への到着連絡

現地に設置された災害対策本部を初め、他の診療機関や救護機関への到着報告と救護班名簿の提出

③ 情報収集

現地（市町村）災害対策本部機構の把握、被害状況救護進行状況の確認

④ 本部、他機関との業務打ち合わせ

※ 災害時医療コーディネーターのもとでの業務調整が重要

基本的業務分担の確認

救護所開設場所の決定

（体育館や公民館などの劣悪な環境のなかでの設置）

開設地周囲環境、電源、利水及び開設地の安全性確認

トリアージ体制、負傷者搬入ルート・手段、重

傷者後送ルート・手段の確認

医療支援編（避難所編）

救護所、避難所での業務（1）

① 被災地での情報収集
（被害状況や救護進行状況について）

② 救護所設置の広報

③ 傷病者の受付・記入

④ 医療救護の実際

- 時間経過と共に変化するため、情報収集に努め、臨機応変に対応することが重要
- 災害時医療コーディネーターのもとでの業務調整が重要

⑤ 防疫対策の支援（感染症、伝染病予防対策）

⑥ 傷病者後送の依頼
（後方病院への重症者の移送）⑦ 傷病者の収容状況・移送先等の明示
（安否調査）

⑧ 救護日誌の記入

⑨ 後続班、交替班要否の検討及び交替時期の検討

医療支援編（避難所編）

救護所、避難所での業務（2）

避難所での活動

【発災当日～翌日】

避難に伴う外傷（切創、挫創、裂創、骨折など）

破傷風の予防対策

不安、不眠、食欲不振などの急性期心的ストレス反応

定期的に内服している降圧薬や糖尿病薬、

睡眠薬等を持ち出せなかった患者への対応

在宅酸素患者や透析患者への対応

【発災数日～1週間】

糖尿病、心不全、腎不全、慢性呼吸器疾患、高血圧などの慢性疾患の悪化

感冒、肺炎・気管支炎・胃腸炎などの感染症

食中毒や便秘、急性胃腸障害

片づけ作業に伴う外傷（切創、挫創、裂創、骨折など）

不安、不眠、食欲不振などの急性期心的ストレス反応に対する心のケア

深部静脈血栓症予防に対する啓蒙

肺動脈塞栓症やたこつぼ型心筋症等にも注意

【発災後1週間以後】

感冒、肺炎・気管支炎・胃腸炎などの感染症

不安、不眠、食欲不振などの急性期心的ストレス反応に対する心のケア

巡回診療やターゲットを絞った訪問診療も重要

撤退の時期も重要